



# 観音寺小だより

〈発行〉  
観音寺市立  
観音寺小学校

## 校庭の風景

二期 さらなる充実をめざして  
凍とした空気の中で



九月三日、第二学期始業式。体育館に入場する際の子どもたちからは、全く声が発せられません。足音もできるだけ立てないように気をつけて入場してきます。一つ、また一つとクラスが座っていくごとに、体育館の空気が止まり、引き締まっていきました。

「おはようございます」

校長先生と挨拶を交わした子どもたちの顔は、充実した二期期にしようとする決意が漲っていました。また、それは、始業式から「欠席ゼロ」を成し遂げた全校生の思いそのものでした。

また、九月五、六日には、夏休み作品展が行われました。二百名を超える保護者の皆様の御来校には、夏休みを親子で過ごした充実感を感じることができました。そして、力作ぞろいの作品を熱心に見学する姿には、「来年の夏も頑張るぞ」という意欲が満ち溢れていました。

第二学期が始まってから二週間が経ちました。しっかりと「目標」を持ち元気ががんばる子どもたちの、今後の活躍を御期待ください。



〈校長先生のお話〉



〈児童代表の言葉〉



〈夏休み作品展〉

## 頑張る子どもたち

- ◎ 学年チャレンジ達成  
3年生  
「3時間目の始まりには自分の席に座っておく」
- ◎ 百人一首赤札名人  
1年4組 藤田 健斗
- ◎ 欠席ゼロで賞（7月）  
1年3組  
3年2組  
3年3組
- ◎ 全校「欠席ゼロ」の日 5回達成（9/3）



## 御意見・御要望から

- ヘルメットを着用せずに自転車に乗っている子どもをときどき見かけました。ルールをしっかりと守り、命も守ってほしいです。
- スーパーやコンビニで遊んでいる子どもを見かけました。
- 図書館開放日に、本を借りる人数が少ないように感じました。

これらの御意見を頂きました。粘り強い指導をこれまで以上に心がけたいと思います。御理解・御協力のほど、よろしくお願いします。また、今後とも忌憚のない御意見をお願いいたします。

## 大切にしたい「言葉」

どんな状況でも、勝利のため、またひとつの「ゴール」のために、最後まで全力を尽くしてプレーする

ロシアワールドカップ、ジャカルタアジア大会で大活躍した日本サッカー界。この言葉は、その日本サッカー協会行動規範「最善の努力」という項目のなかに収められています。

サッカーの試合では、アディショナルタイムで、同点に迫いついたり、あるいは逆転したりすることがしばしばあります。最後の一分、一秒までゴールをめざしチームが一丸となって走り切ること、起こりうる奇跡があるので、起死回生の奇跡があるので、また、一生懸命がんばる姿は美しく、見ている人々に感動を伝えます。

子どもたちの世界でも同じことが言えるのではないのでしょうか。「最後まであきらめないで練習すれば記録が伸びる」「反復ドリルを粘り強く続ければ漢字・計算等の定着度が向上する」等々。さらなる飛躍が期待される二期。学習・運動・生活それぞれでの面で最善の努力を続け、一人ひとりの力を伸ばしてほしいものです。